

1-1 学部，学科の名称と教育研究上の目的

1-1-2 建学の精神，基本理念，教育指針，教育研究上の目的

1. 建学の精神，基本理念，教育指針

建学の精神	挑戦と創造の教育
基本理念	(1) 教育とスポーツの融合 (2) 時代の求める教育の追求 (3) 教育する者も教育される者も共に成長しながら教え育む(共育)
教育指針	(1) 個性教育：豊かな人間性と個性を育む教育 (2) 実学教育：深い専門性と実践力を身に付ける教育 (3) 国際教育：コミュニケーション能力とグローバルマインドを涵養する教育

2. 教育研究上の目的

(1) 環太平洋大学の目的

環太平洋大学 (International Pacific University) (以下、「本学」という。) は、学校法人創志学園の建学の精神並びに教育基本法及び学校教育法の規定に基づき、教育・スポーツの両面を通じて、健全で豊かな人格を備えた教育者・指導者を養成するとともに、深い専門性と応用力を兼ね備えた真に次代を担う国際人となり得る人材を輩出することで社会に貢献することを目的とする。
(学則第1条)

(2) 人材育成・教育研究上の目的

① 体育学部

体育学部は、健康・スポーツ科学に関する教育研究を行い、「競技スポーツ」、「健康運動」、「健康・スポーツ教育」の分野に関する科学的知識と実践力を備えた専門家を養成するとともに、運動技能の習得を通してスポーツパーソンシップを身につけることによって幅広く社会のリーダーとして活躍できる人材の養成を目的とする。

ア 体育学科

体育学科は、スポーツ科学に関する専門的知識と運動技能を身につけることによって、青少年のスポーツ教育に寄与できる指導者、アスリート、さらには社会の多様な分野でリーダーとして活躍できる人材の養成を目的とする。

イ 健康科学科

健康科学科は、健康・医科学の深い専門性に裏付けられた実践力を養成する実学教育を重視し、「健康科学」を中心として、「健康医学」、「スポーツ医科学」や「保健衛生学」「保健医療学」の学際的な領域で学び、アスリートはもとより、広く人間の健康を科学する医療人の育成を目的とする。

②次世代教育学部

次世代教育学部は、教育学・心理学・社会学などに関する教育研究を行い、「教育実践力」「コミュニケーション力」「異文化理解力」を備え、次代の社会を担い、自らの力で意思決定や価値判断のできる人材の養成を目的とする。

ア こども発達学科

こども発達学科は、激変する時代社会の中に生きる、子どもとその家庭を支えるために、多面的に事象を理解する理論と実践力・協調性を培い、コミュニケーション能力に優れ、さらに国際性を磨いた幼児教育者をはじめ、社会に有為な国際感覚溢れる人材の養成を目的とする

イ 教育経営学科

教育経営科は、次代を担う子どもが、豊かな自己実現をする上で不可欠となる基礎を培う教育を実践できる人材を目的とする。

③経営学部

経営学部は、経営・経済に関する幅広い知識と教養を土台にして、経営学、国際経済、会計・ファイナンス、マーケティングに関する専門知識を体系的に学び、企業実務やマネジメント手法の実学に触れながら、文化・社会の発展に寄与するとともに、経済・産業の諸分野において中核を担う企画力と実行力を持ち、知識創造時代におけるイノベーションの原動力となり得る人材養成を目的とする。

ア 現代経営学科

現代経営学科は、現代ビジネス社会に必要な企業マネジメントに関する基礎知識や社会の仕組みを多面的に学んだ上で、現代経営、ビジネスデータ分析、人事管理、マーケティング、財務・会計等の経営に関わる実践的知識のほか、国際経営や日本経済等の知識を深めることにより、グローバルな視点をもって、将来、上場企業の管理職やベンチャー企業の経営者、地域産業の発展を牽引する人材の育成を目的とする。また、グローバルビジネスコースでは、1年間の長期留学を経験することによる「語学力」と「コミュニケーション能力」を伸ばし、多文化共生の環境で培う「異文化理解力」と「多文化共生力」を見に付ける。実体験に基づく国際的感覚を軸に、国際経営、マーケティング、アジア経済、国際ファイナンス等の国際ビジネスに関する専門的知識の修得に重点を置いた学修を進めることによって、ビジネスコミュニケーションの能力が高く、上場企業やグローバル企業等において国際ビジネスや国際プロジェクトの展開に貢献できる人材の育成を目的とする。